

## 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業

ナノテク支援運営委員会

ナノテクノロジーに関する最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する 25 機関 38 組織が緊密に連携して全国的な設備の共用体制を共同で構築することを目指した「文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業」も開始以来、すでに 5 年を閲した。フォトリソグラフィ研究所は「分子・物質合成プラットフォーム」を他大学と分担して担当してきたが、本学においては年々利用が伸びつつある。ちなみに平成 24 年度と比較すると、平成 28 年度には利用件数は 15 件から 39 件に、のべ利用日数は 31 日から 624 日へ、利用料収入は 23 万 5 千円から 115 万 6 千円までいずれも大幅に増加している。しかし、分子物質合成プラットフォーム全体の傾向であるが、近年その数字は頭打ち傾向にある。今後は、「秀でた利用成果」に採択されるような質的に優れた支援を行っていく必要がある。

委細は HP (<https://www.chitose.ac.jp/~nanotec/index.html>)、を参照していただくとして、2017 年 1 月以降に実施した主な行事等を列挙する。

- ・千歳科学技術大学分子・物質合成プラットフォーム共催の「HiINT セミナー（2016 年度第 4 回）兼第 19 回産総研北海道センター講演会」（R&B パーク大通サテライト）で講演（平井悠司）およびナノテクノロジープラットフォームの紹介（河野）を行った。  
平成 29（2017）年 1 月 18 日（水）
- ・「走査型近接場顕微分光システム（SNOM NFS-230）学内講習会」（千歳科学技術大学）を開催。  
平成 29（2017）年 1 月 27 日（金）～ 1 月 28 日（土）
- ・「クライオミクロトーム」（千歳科学技術大学）講習会を、ライカの技術員を講師として迎え開催。  
平成 29（2017）年 2 月 9 日（木）～ 2 月 10 日（金）
- ・nano tech 2017 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議（東京ビッグサイト）に千歳市・PWC と合同で出展した。  
平成 29（2017）年 2 月 15 日（水）～ 2 月 17 日（金）
- ・文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム 第 15 回ナノテクノロジー総合シンポジウム JAPAN NANO 2017 「超スマート社会の実現に向けたナノテクノロジー」（東京ビッグサイト）において、ポスター発表を行った。  
平成 29（2017）年 2 月 17 日（金）
- ・「CIST / Korea University Joint Workshop on Emerging Materials and Devices」（千歳科学技術大学）を共催した。  
平成 29（2017）年 2 月 23 日（木）
- ・分子・物質合成プラットフォーム主催「すぐには役に立たない研究講座」（科学技術振興機構東京本部別館）で講演（平井悠司）を行った。  
平成 29（2017）年 6 月 2 日（金）
- ・「分子・物質合成プラットフォーム 平成 29 年度シンポジウム」（九州大学）で本学の設備の利用による成果が 3 件発表された。  
平成 29（2017）年 6 月 23 日（金）
- ・「北洋銀行ものづくりテクノフェア 2017」（アクセスサッポロ）に千歳市・PWC と合同で出展した。  
平成 29（2017）年 7 月 20 日（木）
- ・「平成 29 年度ナノテクノロジープラットフォーム学生研修プログラム」（千歳科学技術大学）を行った。参加者 2 名（豊田工業大学、北見工業大学）担当カートハウス。  
平成 29（2017）年 8 月 2 日（水）～ 8 月 4 日（金）
- ・「産・学・官・金」連携による新たなマッチング事業「Matching HUB Otaru」（グランドパ

ーク小樽)に出展した。

平成 29 (2017) 年 9 月 5 日 (火)

- ・「平成 28 年度ナノテクノロジープラットフォーム総会・利用成果発表会」(科学技術振興機構東京本部)で本学の設備の利用による成果が 1 件発表された。

平成 29 (2017) 年 10 月 20 日 (金)

- ・「ビジネス EXPO (第 31 回北海道技術・ビジネス交流会)」(アクセスサッポロ)に PWC と合同で出展した。

平成 29 (2017) 年 11 月 9 日 (木) ~ 11 月 10 日 (金)

- ・「FE-SEM 講習会~FE-SEM による観察の可能性とナノスーツ法の実技実習」(千歳科学技術大学)を分子物質合成プラットフォーム事業、大学連携研究設備ネットワーク事業と共催。

平成 29 (2017) 年 11 月 22 日 (水)

2018 年 1 月現在の運用体制 (ナノテク支援運営委員会) は以下のとおりである。

Olaf Karthaus (応用化学生物学科) 委員長

下村 政嗣 (応用化学生物学科)

木村-須田 廣美 (応用化学生物学科)

大越 研人 (応用化学生物学科)

平井 悠司 (応用化学生物学科)

小田 久哉 (電子光工学科)

河野 敬一 (北海道大学名誉教授) シニアアドバイザー

山崎 郁乃 技術員

田中 布美子 技術補佐員

雀部 博之 (本学前学長・名誉教授) 顧問